

# 商 況

(日本製鐵販賣旬報第 120 號~122 號より抜萃)

## 昭和 13 年 7 月中鐵鋼關係日誌

6 月 23 日 棒鋼共販第 18 回理事會に於て富永鋼業株式會社大阪支店の同共販指定問屋加入を承認決定した。

7 月 1 日 愈々今日より鐵鋼配給統制規則が實施される事となつた。

○日滿鐵鋼販賣會社は銑鐵共販事務所に於て創立總會を開た

○全滿鐵道貨物運賃大改正案は今般關係當局の正式認可を了り 10 月 1 日より實施せられる事となつた。滿洲國の産業開發に資する所大なりとせられてゐる。

○ユーゴスラヴィア政府は本日の閣議の結果、資本金 600,000,000 デイナールの「ユーゴ製鋼會社」を創立し、株式は全額政府所有となし將來此の會社だけで國內の全需要を満たす意圖である由。

○アメリカ屑鋼相場は昂騰を續け、ピッツバーグ渡一級屑鋼は 13 弗 25 仙である。

○オーストリア外債の引繼問題に關する英獨協定成立し、ドイツは本外債肩替を承認した由。

○アメリカ鐵鋼相場は引續き保合の旨入電があつた。

2 日 ニューヨーク株式市場は先月末より昂騰を續けてゐる。

	スチール株	工業株
6 月 29 日	56 弗 7/8	135 弗 87 仙
30 日	56 弗 7/8	133 弗 88 仙
7 月 1 日	59 弗	136 弗 53 仙
2 日	60 弗 7/8	138 弗 53 仙

5 日 帶鋼共販は第 6 回理事會を開き、7、9 月生産數量割當に關する件、其の他に就き協議した。

○滿伊修好通商航海條約及び日滿伊通商協定は正式調印を了つた。

○スペイン不干渉委員會總會はスペイン義勇兵撤收案を採擇した。

6 日 日本フェロアロイ協議會では次の通り新加入メーカ 4 社加入を決定した。

フェロ・マンガン、フェロ・シリコン=磐城セメント

磷鐵=東洋電氣工業、昭和精煉、金山電化工業

○日滿鐵鋼販賣會社では 6 日重役會を開き (イ)7、9 月渡賣出の事務引繼、(ロ)指定商及び(ハ)指定問屋に對する方針その他に就き協議したが、指定商及び指定問屋は當分の間現狀維持を續ける事となり、日鐵の三井、三菱、岸本、銑鐵共販及日滿商事、日印商事、日商、大倉鑛業の 7 社を、指定問屋は從來の全國 17 店を引繼ぐ事と決定した。

○バーテンにて開かれてゐた國際ブリキ協會の幹部會は 6 日終了したが、同會議の結果 6 月末滿期の國際ブリキ・カルテル協定を向ふ 3 ヶ年延長する事に決した。

○今週のアメリカ製鋼作業率は獨立祭休日の關係から 22.4% と前週に較べて 6.3% 方の急減を示してゐる。

7 日 日支事變勃發以來此處に滿 1 年の日月が經過した。

○アメリカ主要製鋼會社はボールド及びナット賣値を 5% 方

引下を發表した。

○ヨーロッパ鐵鋼相場は引續き保合の旨入電があつた。

8 日 昭和 12 年法律第 92 號に基き商工省令第 49 號を以て、特別の事情により地方長官の許可を受けた場合の外商工大臣の指定する物品又は其の部分品は(鋼材、屑鋼を含む)製造する事を禁ずる旨發表された。同時に商工省告示第 180 號を以て文鎖以下 127 種の物品が指定され、並びにその物品及びその部分品を製造する専用機械器具の製造を禁止するものとして鐵釘以下 17 種の物品が指定された。

○日鐵では資源開拓の必要上監理部に資源課を新設した。

9 日 勅令第 499 號を以て工作機械製造事業法は昭和 13 年 7 月 11 日より施行せられる事となり、同時に勅令第 500 號を以て同法施行令が、商工省令第 50 號を以て同法施行規則が制定せられた。尙昭和 12 年法律第 92 號第 2 條の規定に基いて、商工省令を以て鉛、亜鉛、錫、ゴム等の使用制限規則、ゴム、米松等の配給統制規則、又物品販賣價格取締規則等が發令せられた。以上孰れも戰時體制下の物資需給調整を目的とせるものである。

○大阪伸鐵工業組合の 7 月第 2 回賣出價格は据置と決定。東京伸鐵工業組合の 7、8 月渡値段も据置と決定。

○ユー・エス・スチール會社は、6 月中の同社鋼材引渡高は 478,000t なる旨發表した、これは前月に較べて 13,000t の増加である。

1936 年 1 月以降累計	5,031,350t
1937 年 "	7,614,274t
1938 年 "	3,011,045t

○滿洲國經濟部は同國 6 月分貿易額を發表した。それによれば同國の上半期貿易額は次の通り入超激増である。

輸 出	592,491,000 圓
輸 入	543,547,000 圓
差 引 入 超	151,055,000 圓
去年同期入超	48,392,000 圓

7 月中旬爲替相場

區 分	6 月 1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	7 日	8 日	9 日
對 英	7/8	"	"	"	"	"	"	"
對 米	28-7/8	"	"	"	28-1/8	"	"	"

11 日 商工省令第 57 號を以て昭和 12 年 10 月 11 日商工省令第 24 號鐵鋼工作物築造許可規則を改正し構造用として使用する鐵鋼の數量 50 吨以下のものでも地方長官の許可を要する事となつた。

○商工省は告示第 187 號を以て鐵鋼工作物築造許可規則第 1 號第 1 項但書の規定に依り許可を要せざる工作物の種類を次の通り指定し昭和 12 年 10 月商工省告示第 110 號(本件と同伴)は之を廢止す。次に掲ぐる事業用に供する製鍊場、選鍊場、工場、鐵塔、索道、岸壁、棧橋、起重機、タンク、倉庫、給水設備、排水設備、其他之に準ずる工作物。

1. 採鑛業並に金屬製鍊業及製鐵業（普通鋼材製造業にして製鋼又は壓延の設備のみを以て營むものを除く）
  2. 輕合金又は可鍛鐵鑄物の製造業
  3. 工作機械器具（製材及木工機械を除く）又は同部分品若は同附屬品の製造業
  4. 兵器又は同部分品若は同附屬品の製造業
  5. 人造石油（頁岩油を含む）又は代用液體燃料の製造業及石油精製業
  6. 石油輸入業
- 12日 ソ聯側は滿洲領長池西側張鼓峰より滿領内約3軒の地點に在る山峰に侵入し不法占領をなすと共に同峰一帯に陣地を構築す。
- 13日 米國商務省發表、5月中對日ブラックシート輸出高87,000 lbs、鉄力は124,000 lbs。  
○臺灣總督府は府令を以て銑鐵鑄物の製造制限規則を公布し銑鐵を原料とする90餘品目の製造を禁止す。
- 14日 商工省は省令第59號を以て昭和12年商工省令第10號（暴利を目的とする物品の賣買取締に關する件）を改正し、同令の適用品目の擴張をなすと共に物價昂騰の阻止、價格表示の強制、一般的公定價格制を實施する事となつた。  
○今週の米國製鋼作業率は全能力の32.3%と見積られ前週より9.9%の大幅増加を示す。US スチール株は56弗 ¼
- 15日 帶鋼共販理事會は次の通り指定問屋の追加を決議す。  
東京の森岡商店、芳賀商店、大阪の吉村商店、山本(貞)商店、旭商事。  
○米國一級屑鐵ピッツバーク消費者渡14弗~14弗50仙（前週13弗~13弗50仙）同輸出向紐育解渡10弗50仙~10弗75仙（前週保合）レール屑輸出向ボストン貨車渡11弗（前週7弗50仙）。  
○閣議に於て1940年の第12回オリンピック東京大會及び皇紀2,600年記念日本萬國博覽會は現下内外の時局に鑑み返上並びに時局安定まで延期と決定す
- 16日 大阪伸鐵工業組合7月積第2回賣出値段は据置。賣出數量はAサイズ2,000 噸と發表。
- 20日 日本銀行はその保有する正貨準備中3億圓を解除し、之を以て同行に外國爲替基金勘定を設置す。本基金は必要に應じ外貨に換へて保有し正金銀行及び他の爲替銀行をして輸出商品の原料輸入の爲に利用せしめそれを各銀行は各自の輸出爲替代り金の中より一定期間内に本基金に返還せしめ、原則として回轉的に輸出商品原料輸入の爲に活用する。  
○日本鋼材聯合會臨時委員總會開催、大體次の諸項につき決定す。  
1. 薄板、鉄力板共販組合の鋼材聯へ參加の件及同組合員の加入の件（薄板共販の加盟社にして新加入社は日本鋼業、東京製鐵、東洋製鋼、淀川製鋼、中山鋼業、大阪中山鋼業、大阪薄鐵飯の7社、鉄力板共販關係の新加入社は東洋鋼板、淀川製鋼、高砂鐵工、大阪中山鋼業、扶桑鋼業の5社。之に伴ひ鋼材聯合會常務委員稻山嘉寛（日鐵）、山崎達之助（東洋鋼板）の兩氏が新に任名さる。）

○日滿鐵鋼販賣會社では事務を開始す。又從來の日銑會及銑鐵共販の指定販賣人が合併し銑友會を設立す。

○今週の米國製鋼作業率は全能力の36.4%と見積られ先週より4.1%の増加で昨年11月第3週以來の新記録を示す。US スチール株60弗 ¾（前日62弗 ¼）。

7月中旬爲替相場

區分	月	7	11	12	13	14	15	16	18	19	20
對英	對	½	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	對	28-¾	"	28-½	"	28-¾	"	"	28-½	28-½	28-½

○朝鮮總督府では告示第581號を以て鐵鋼工作物の築造に關し内地と歩調を合せるべく制限令を改正し本日より實施することとなつた。

21日 倫敦よりの入電の外註値段 Free on lighter in tokyo) 下の如し。（爲替1志2片）

	per 2,400 lbs	per 1,000 kgs
Cleveland No. 3 pig Iron	£ 6-12-0	¥ 115'00
Continental M. S. Bars	8-17-0	154'52
" Angles	"	"
" I Beams	"	"
" Channels	"	"
" Plates	\$ 48'00	171'21

○紐育より入電の外註値段 (Free on lighter in tokyo) 下の如し。（爲替—28%）

	per 2,240 lbs (Previous week)	per 1,000 kgs (Previous week)
M.S. Bars (Base size)	\$ 51,296 (\$ 52,416)	¥ 181'80 (¥ 183'74)
" Angles ( " )	49,056 ( 50,624)	173'99 ( 177'55)
" I Beams ( " )	" ( " )	" ( " )
" Channels ( " )	" ( " )	" ( " )
" Plates ( " )	47,936 ( 50,624)	172'81 ( 170'09)
Sheet Bars	37'65 ( 37'65 )	136'37 ( 134'22)
Billets	35'35 ( 37'65 )	128'22 ( 126'20)
Ingots	" ( " )	" ( " )

○5月の全國各目貨銀指數（大正3年7月基準）は287.8と前月より7厘の騰貴にして、他方生計費指數が保合状態にあつた爲、實質貨銀指數も140.3と前月より6厘方騰貴す

○商工省は告示第197號を以て鐵鋼配給統制規則第2條の規定に依り次の團體を指定した。日本交通保安裝置工業組合、日本鑄鐵管工業組合、熊本縣鐵鋼製品工業組合聯合會、栃木縣鐵鋼製品工業組合聯合會

21日 日滿鐵鋼販賣株式會社の指定商たる三井、三菱、岸本、日商、日印、大倉鑛業は銑友會を結成し大阪に於ける指定商は阪神銑友會として、指定商相互の協力並に會社との連絡に當ることとなつた。

23日 製鋼原料懇話會開催、内地屑鐵購入價格特級品102圓、1級品97圓据置と決定。

25日 米國の屑鐵相場はピッツバーク消費者渡15弗50仙を唱へ昨年10月來の高値を示す。輸出向は紐育解渡10弗50仙—11弗（前週より25仙方騰貴）同レール屑はボストン貨車渡11弗25仙（前週より25仙高）

26日 我軍は太湖城を占領す。

○九江に入城す。

○商工省は次記3社の熔鑄爐並に附屬設備増設計畫を許可す。日本鋼管第4號熔鑄爐（日産600 噸）1基、トーマス轉爐（爐容20 噸）2基、竣工豫定昭和15年6月、中山製鋼第2號熔鑄爐（日産500 噸）1基、平爐（爐容70

融) 3 基, 竣工豫定 15 年 3 月, 小倉製鋼第 2 號熔鐵爐 (日産 350 融) 1 基, 平爐 2 基, 壓延設備 (線材) 年産 1 萬融, 竣工豫定 15 年 6 月.

27 日 商工省の鐵鋼統制協議會では國際收支の關係上銑鐵竝にスクラップ等の製鋼原料の輸入制限を實施する事になり 7, 8, 9, の 3 ヶ月の鋼材生産額減産方針を決定した. 之により日本鋼材聯合會では各社の同期間の生産高を平均 1 割 6 分 6 厘強の減産を行ひ, 更に生産各社の自家用鋼材についても 7 月以降 4 割の使用制限をなす事に決定した.

○今週の米國製鋼作業率は全能力の 7% と見積られ前週より 0.6% 方高を示したが, 之は雜多小口の註文増加によると.

○ドイツ鐵鋼協會發表, 6 月中の銑鐵生産高は 1,509,000 融, 鋼は 1,831,000 融.

30 日 商工省は告示第 223 號を以て日本製鐵に委任されてゐた普通銑鐵の鐵鋼割當證明書の發行を先般設立した日滿鐵鋼販賣會社に改む.

○商工省は告示第 224 號を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定に依り次の通團體を指定す. 人造石油製造業鐵鋼配給協議會, 日本鐵管工組合聯合會, 日本鋸刃工業組合, 大阪府鐵鋼製品工業組合聯合會, 宮崎縣鐵鋼製品工業組合聯合會, 沖縄縣鐵工業組合.

○昭和 12 年 7 月を基準 100 とする全國主要 24 市平均 7 月分勞働者生計費指數は 112.2 で前月より 2 分 9 厘の上昇を示し, 全國主要 10 市平均の給料生活者のそれは 111.6 で前月より 3 分の上昇を示す.

○外國爲替基金勘定を利用し得る輸入商品は棉花以下 9 品種と發表.

31 日 機械器具製造者に對する鐵鋼配給統制は 4 月より日本鐵鋼製品工業組合聯合會 (中小工業者の工業組合) と機械工業鐵鋼配給會 (巨大工業會社 60 社) との二大系統に分れてゐたが商工省は之を單一組織に統合し後者を從來の任意團體から工業組合に改組し日本鐵工聯に加入せしむることとなつた.

○張鼓峰方面のソ軍は大々的砲兵の掩護射撃の下に夜襲し來たりしにより我軍も之に應じ同方面及び沙草峰南方の高地を占據す.

7 月下旬爲替相場

區分	月	7							
	日	21	22	23	25	26	27	28	29
對英		1/2	"	"	"	"	"	"	"
對米		28-3/8	28-1/8	"	"	"	"	"	28-3/8

海外情況

ベルギー市況 (6 月 16 日)

來る可き價格の改訂に就いては餘りにも多くの豫想が行はれてゐた. けれども今週始めベルギー, 英國及びフランスの新聞の發表した處では一般的な價格の引下が行はれるだらうとか, 或ひは價格の引下の行はれる部門は然らざる部門よりも多いだらうと信ぜられてゐた. 然るに今週バリの會合に於て, 1940 年までカルテル及び英國メーカーとの協定を延長する事が決定されると同時に, 一切の價格が据置かれることとなつた.

たゞ問題は此の事が價格の決定的な安定を意味するか否かといふ事である. 恐らくカルテルは先づ最初にアメリカのメーカーとの間

に實行力ある協定を取結ばうと努めるであらう. 第一の到達點はアメリカのメーカーとの協定によつて, 3 月から既に豫見せられてゐたロンドン統制局設置の件であらう. 之に就いては, 既に原則に於ては決定を見てゐるのであるが, 詳細の點に關しては未だ今後の協議による一致を俟たねばならない. 此の統制事務局がまだ設置に到らなかつたといふ事實から見て, 何等かの問題が未だ解決されてゐないものと考へられる. パリに於て發表されたカルテルの公式のコミニケは次の如く述べてゐる. 「先月中行はれた商議は, 近き將來に於て實行力ある協定が結ばれるであらうといふ保證を與へるものである.」もしも此の希望が實現されるならば確かに價格の決定的な安定といふ事も一層確實になるだらう.

兎に角カルテルの決定が市場に好印象を與へた事は確かである. 然しその直接の結果は未だ感ぜられなかつた. 價格維持のニューズがまだ外國の買手に知られて居なかつたのであるし, 又知られてからも彼等の其後の態度を決定するまでには或る時日を要するのである以上, それも當然の事であつたらう. 今度こそ, カルテル價格政策に就いての不安の爲に今まで保留されてゐた注文が消費者から市場に向て發せられるだらう. それよりも, 外國のストック・キャリーイング・マーチャントが彼等の存在の補充にかゝるだらう. さうメーカーは期待してゐる. 多數の輸出業者の意見は, 今後の輸出状態の如何は價格に對する買手の意見及びアメリカの鐵鋼業との間に實行力ある協定を速かに締結し得るか否かといふ事, 此の二つの點に懸つてゐると考へてゐる. 兎に角輸出業者は一般に, 市場の活況は徐々にしか恢復すまい, そして市場條件の點の變化は初秋の頃までは期待出来まいと見てゐる.

それは兎に角として可成り敏感な部門である黑板及亜鉛板は公定價格の安定に對して何等の反應を示さなかつた. フランス及びベルギーの再壓延業者が行てゐた黑板に對する値引は今も以前の通りである. 即ちフランス側の値引は 30~40 志 (紙), ベルギー側は 25~30 志 (紙) である. ベルギー市場に於ける亜鉛板に對する値引は, 寧ろ幾分甚しくなつた. 即ち 30~35 志である. 然し他の總ての製品は底堅い. 棒鋼に對しては僅かに一二の再壓延業者が 1~2 志 (金) の値引をなす可能性はあつたが, 然しそれも容易な事ではなかつた. 3 番アイアンバーは敏感に 5 志 (金) 方硬化して 6, 12, 6, (紙) となつた.

コジベル受註高は今月 11 日までに 35,700t に對し, そして 13 日までに 37,000t の註文が工場に引渡された. 然しながら國內向註文と輸出向註文との比率は正常的ではない. 即ち國內向 26,800t に對し, 輸出向は 8,900t といふ状態である.

銑鐵 此の部門は先週既に示してゐた反撥をそのまま維持してゐた. 輸出向價格は次の通りである. 鑄物用 3 號銑, 3.3.6, ~3.5.0 (紙) FOB. 鑄物用ヘマタイト, 當り 825 白法, リフアイニング・ヘマタイト, 725~750 白法. FOB アントワープ.

半製品 上記のコジベル受註高總計中の半製品受註高は 16,300t である. 然しその殆んど全部が國內向であつて, 輸出市場はびえない.

棒鋼 11 日までに 10,000t 以上の受註があつた. 價格は頗る底堅いやうである. そして再壓延業者でさへ, 一二の例外を除いては大部分公定價格に従てゐる.

三番アイアンバー 價格は平均 6.12.6 (紙) FOB に昂騰した. 引渡期日は幾分延長された.

形鋼 受註僅に 2,000t. 甚だ不十分な數量である. 然し價格は保

合。

フープ及ストリップ フープ（ホット及コールド）の國際カルテルは今月の終り頃に主として價格の問題に關して會議を開くだらう。多分現在の價格は据置となるだらう。フープもストリップも取引は可成り閑散である。

厚中板 アメリカ及びスウェーデンの競争が尙ほ行はれてゐるやうである。スウェーデンの鋼板がバルチック諸國及びオランダに於て安値で供給された。今月の最初の二週間の受註高は僅かに、厚板 4,000t、中板及びユニバーサル・バー 1,650t であつた。

黒板 13 日までの受註高は約 2,500t であるが、此の數字は再歴延業者の受註高は含んでゐない。

亜鉛鍍板 此の部門は依然市場閑散であり、先物取引はない。1,200t の註文に對して、大部分のメーカーは 30 志或る場合には 35 志（紙）の値引を許してゐる。但しメーカーは全部さうだと言ふ譯ではない。

アメリカ市況（6 月 13 日）

閑散状態は鐵鋼市場の凡ゆる部門に亙て依然持續して居り、近い將來に於て轉換の氣配はない。買付はたゞ當用買の最少限度に止められ、在庫の蓄積は爲されてゐない。6 月の註文量は 5 月及び 4 月に略々比肩し、唯僅かばかりの下向傾向がある。

5 月に於けるユー・スチールの鋼材積出高は 465,081t であつて、4 月より 7.3% の減少である。今年の 5 ヶ月間積出高累計は 1937 年の同期間に較べて 838,958t の減少である。製鋼作業率（全國平均）は先週は不變で、25.5% であつたが、今週も大略それに近い數字を示す模様である。

ペンシルヴァニア鐵道會社の 1,000 輛を越える車輛建造豫定は東部の製鐵業者に幾分の希望を與へてゐる。然し所要鋼材の一部は現在の手持の中から賄はれる模様であり、從て幾何の t 數が發註されるかは疑問である。約 80,000t の鋼材を要する南部鐵道の車輛建造に對する認可は尙與へられず、延期を見るのではないかと信ぜられるに到た。

各種の公共事業は依然として、鐵骨及び鐵筋用鋼材市場に於て殆んど唯一の重要な註文である。ワシントンの政府印刷所増築用の形鋼 8,800t の發註は大口註文の尤なるものである。ユニオン・パンフイックが橋梁用に 2,425t の發註をなし、テネッシー・ヴァリアー當局は送電線の鐵塔用鋼材 1,500t 及び發電所用形鋼 1,200t を許可した。

1 級及び 2 級製鋼用屑鋼約 35,000 をも含めての、ヨーロッパの消費者によるスクラップ購入價格は各々 8.50 弗及び 10 弗 FAS と報ぜられて居り、スクラップ價格が如何に下落したかを示してゐる。此の價格は昨年夏の半ばの大量購入に際して支拂はれた價格の半ばであり、秋の第 2 回購入の場合よりも 5 弗下である。此の價格では配給業者は、ニューヨークの價格からは僅かの値開しかなく、東ペンシルヴァニア市場の價格からは事實上全然値開がない。

5 月の鋼塊生産高は 1,803,805t であつて 4 月の 1,925,160t に較べて 6% の低下であり、1937 年の 5 月の 5,151,909t に較べては 65% の低下である。作業率は、5 月 30, 39, 4 月 33, 44, 1937 年 5 月 88, 79 である。週平均生産高は 5 月 407,859t、4 月 448,757t、1937 年 5 月 1,162,959t である。

亜鉛鍍板の第 3, 4 半期建値の公表は豫期よりも遅れた。そして買付は此の不確定が取除かるまでの間、最小限度に手控へられてゐる。

他の鋼板類の場合と同様の修整が行はれることを期待されてゐる。フェロ・マンガニーズの第 3/4 半期建値も未だ發表を見ない。然現在の價格に變更はないものと豫期されてゐる。

現在の市場に於ける一般的な價格は取引閑散の實情に係り無く、甚だ堅實である。先週の銑鋼合成價格は不變で 33 弗 鋼材合成價格は 61 弗 70 であつた。製鋼用スクラップの合成價格は、シカゴ市場に於ける幾分の下落の爲に、4% 方落 10 弗 71 となつた。これは 1935 年 7 月以來の最低である。

ブラッセル通信

6 月 10 日發信 市況は不相變閑散を續け居候處愈々國際カルテル更改問題は白耳義メーカー間割當量抗爭の白耳義政府調停により無事解決茲に 1940 年後更改せらるゝこととなり、來る 15 日の巴里協議會に於て正式發表の運びと相成申候。同時に公定相場の見直しを待つべく、買人は一般に新値段發表を待ちわび居る様子に御座候。之れに引續き各品種共販の更改協議會開かるゝ豫定にて去る 7 日倫敦に於ては國際薄板カルテル委員會開かれたるも米國代表の要求大陸並英國側の容るゝ處とならず決議を見るに至らざりし由に候。5 月中白耳義製鋼量 156,760t にして 4 月中に比し 5,145t の増量又昨年 5 月に比し半減を示せり。又 5 月末迄の本年 5 ヶ月間の白耳義製鋼總量を昨年分に比するに

本年 5 ヶ月間 — 866,293t

昨年 〃 期 — 1,485,448t

にして昨年に比し本年は 4 割以上の減産なり。

6 月 17 日發信 國際鐵鋼カルテル更改存續決定のこと。

前報通り愈々 14 日の巴里に於ける幹部委員會に於て 1940 年末迄存續と決定致候。同委員會には大陸各加盟國代表の外、英國鐵鋼協會代表並に米國工場代表出席せるが、1935 年中の大陸工場と英國側との取極めも其儘 1940 年迄繼續見るべく、又數ヶ月以來交渉中なりし米國側との本協定も成立せる由に候。尙輸出市場、一般情勢檢討後全員一致現行公定値維持に決定致候。

巴里會議に引續き白耳義アルデンヌ避暑地シャトー・ダルデンヌに於て來る 22 日より 25 日迄細則規約等の再檢討、輸出市場公定相場の協議、將又海運々貨率コンフェレンスとの契約更改等のため共販委員會々議行はるゝ手筈に御座候。

6 月 14 日迄の本月白耳義 Cosibel 入註 39,500t 内内地向 29,800t、輸出向 9,700t と發表せられ候。

6 月 25 日發信 市況は別段變りなきも、カルテル更改決定の爲人氣好轉、氣迷ひ勝なりし買手もこれより實需筋は追々買出の形勢に有之候とは云へ、今や暑中休暇期を眼前に控へ居れば、本景氣出づるは秋の頃ならんかと云ふ次第に御座候。

共販諸機關は今週數日に互りブラッセル市にカルテル更改に伴ふ更改協定の爲め委員會を開き申候。

6 月 21 日迄の三週間白耳義共販 Cosibel 入注 57,000t、内地向 38,500t、輸出向 19,000t と發表せられ候。

市況 カルテル更新問題の解決前の註文の甚しい減退に對して、メーカーは其の主因を此の問題の未解決から賣る買手の不安に歸してゐた。市場の將來に對する不安から註文を手控へて來る買手は、必ずストックの補充の必要を感じてゐるだらう。此の不安が解消すれば註文は増加するに相違ない。さうメーカーは信じてゐた。然るにパリ會議に於てカルテルの存續と價格の据置が決定されたにも拘らず、註文は一向増加しない。買手は探りを入れて見るばかりで取引はなかなか成立しない。何故だらうか。これに對して又かう

いふ解釋が行はれた。アメリカのアウトサイダー及びスウェーデンのメーカーとの競争の爲といふ事だけを考へて見ても、カルテルの価格引下げはあり得ない事ではない。一般的な引下げは無いとしても、少くとも一定品種の特定市場向価格に対する値下げは必至であらう。パリ會議の價格据置聲明は未だ價格の最後の安定を意味するものではなく、22日からのシャトー・ダルデンヌに於ける國際販賣事務局の會議に於て改めて此の問題が議せられるのではなからうか、かういふ推測が市場に行はれて居り、買手はシャトー・ダルデンヌ會議の結果を待ち受けて尙手控へを續けてゐるのではなからうか。……此の會議の結果、たとへ價格の引下げが行はれないとしても兎に角それは當分の間の價格安定を意味するものであり、その結果取引は正常の状態に復するだらう。メーカーはかう期待してゐた。メーカーが最近の輸出貿易の状態をアブノーマルなものだと看做すに就いては、相當な理由がある。以前輸出向注文高は普通國內向注文高の約3倍であつたのが、最近では逆に輸出向注文の方が少い。例へば5月中のコジベル受註高を見れば、國內向50,000tに對して輸出向は僅に34,000tに過ぎない。

おほよそ以上のやうな情勢の下でシャトー・ダルデンヌの會議は終たのであるが、その結果は一般の豫想に反して、一般輸出向價格は一切据置と決定された。但し、アメリカのアウトサイダーと競争する必要のある一定市場向の一定品種に就いて割引する自由を、國際販賣事務局は依然保留してゐるものと考へられてゐる。販賣事務局の此の價格据置の決定には凡そ三つの原因が考へられてゐる。

- (1) 國際政情が多少よくなつた事
- (2) スウェーデン鐵鋼業との間に或る種の諒解が成立しきうな希望のある事
- (3) アメリカのメーカーとの協定が或る程度擴張された事

此の最後の點に就いてはまだ公式の聲明はなされてゐない。然し噂によればアングロ・コンチネンタル・シンデケートとの協約に調印したアメリカン・グループは、現在のアメリカのアウトサイダーの輸出した分だけが、自分たちの割當中から控除される事を承認したと云はれてゐる。もしこれが事實とすれば、かねて歐洲及び米國の兩當事者によつて計畫されてゐた歐米價格統制局の機能は、著しく容易になるであらう。又同時にそれが事實とすれば、アメリカのカルテル加盟メーカーは現在のアウトサイダーをカルテルに加入させ得るとの期待を有てゐるものと考へられよう。兎に角さういふ次第でカルテルの價格は以前の水準に於て最後の安定した譯である。此の安定が何時まで續くものであるかはもとより簡単に豫測出來ない所であるが、大體に於て少くとも此の秋までは續くだらうと言はれて居る。一部の人は來年の春まで續くだらうときへ言てゐる。

さて此のやうにして、カルテルに關する限り總べての問題が解決し、價格水準の將來に對する不安もなくなつた譯であるが、それでは注文は果してメーカーの期待どほり増加しただらうか。事實は期待を裏切つて市場には何等の變化もなく、依然として閑散状態を續けてゐる。コジベル受註高は6月18日までの49,350tに對して、19日から27日までの9日間に就いては22,650tであつた。だが買手の手控から不足を生じ補充を必要とする商品は、可成りの數量に達してゐるに相違ないといふメーカーの見解は依然として搖がず、一部に於ては以上の量は6-700,000tにも上るものと見積られてゐる。然し以上のやうな見解は鐵鋼の需要が昨年と今年とで大差ないと前提しての事である。輸出業者はメーカーに較べて悲觀的な

見方をして居る。即ち彼等の大部分の者はインド、アルゼンチン、近東に於てはストックは尙豊富であるとの情報を受け取たと述べてゐる。昨秋以來急激な落潮を辿て來たアメリカを筆頭として、世界經濟が昨年に較べて少からず萎微沈滞してゐる事は周知の事實であらう。勿論軍備擴張の爲め軍需資材の需要の増大等の特殊事情によつて、必ずしも世界經濟と歩調を共にしない國のあることは否めないが、それにしても大體に於て此の事實は否定出來ないであらう。そうである以上、最近の輸出貿易の不振も、カルテル問題に對する不安のみその原因を求めるとは出來ないのではなからうか。

メーカーが何處まで現在の價格水準を維持することが出來るか。買手の側が現在の價格水準の引下げを斷念して、手控へてゐた注文を市場に出すに到るかどうか。かういふ問題も勿論將來の市場の情勢を決定するファクターではある。然しさういふ所謂駈引とは別に、更に根本的に、市場は果して幾何の需要を擁してゐるか、これが最大のファクターであらう。時の推移と共に此の問題も漸次明きらかになるであらうが、此の點に就いて可成り樂觀的なメーカーも、秋に入るまではさしたる注文の増加はあるまいと見てゐるやうである。

銑鐵 フランス銑鐵の競争が激しく、相場は3・0・0を唱へてゐるが、實際契約は2・18・6 FOBの條件で成立してゐるやうである。然しベルギーのメーカーは依然3・3・6~3・5・0(紙)を維持してゐる。此の値開の爲と又一にはベルギーのメーカーが既に充分の注文を受けてゐることの爲、ベルギーのメーカーは殆んど市場に出てゐない。

半製品 輸出貿易は依然不振で27日までのコジベル受註高23,000t中20,000t以上は國內向である。シャトー・ダルデンヌ會議に於て、英國代表との間に、大陸半製品の輸入許可の遲延に就いて折衝が行はれたが、解決には到らなかつた。相場はブルーム4・3・0ピレット4・5・0シートバー4・6・0 FOBアントワープであるが、これはノミナルで、實際の注文があればもつと低い値段で受けられるであらう。

棒鋼 他の部門に較べて割好況で價格は公定價格通りを唱へられてゐる。然し實際取引に於てその通り守られてゐるかどうかは疑問である。再壓延業者は約2志(金)の値引をしてゐるが、それでも4志から値引を許してゐるフランスのメーカーに注文を奪はれてゐる。極東の注文がいくらあつたが値段は知られてゐない。アルゼンチンが鐵筋用丸鋼の注文を出したが量は少い。27日までの受註高合計は24,000tである。

3番アイアンバー 鐵筋用丸鋼の代用としての用途に振向けられるものがあり、相場は幾分引締まつた。先週6・12・6~6・15(紙)FOBに騰貴したまゝ高値に保合てゐる。唯丸棒だけは之より稍々低い價格で取引されるやうである。

形鋼 市場に出てゐるのはフランス製品のみで、ベルギー製品は殆んど賣物に出てゐない。價格は保合である。工形標準規格物4・17・6同英國規格物4・19・0大形物4・12・6~5・0・0山形鋼5・0・0(全部金磅)FOBアントワープ。27日までの受註高合計は6,000tである。

帶鋼 ホット・ロール物の國際カルテルは先週行はれ、現在の價格を維持することに決定された。コールド・ロール物の國際會議は次の月曜に行はれる豫定であり、價格は幾分下げられるだらうと豫想されてゐる。

中、厚板 取引は餘り満足す可き状態ではない。27日までの厚板受註高は約 9,800t で、ノーマルな生産高の 50% 以下にしか當らない。ヨーロッパ、極東、アフリカの諸市場に於けるアメリカのアウトサイダーの競争はなほ行はれてゐる模様である。だが造船用鋼板のオランダ向價格の引下げは今後アメリカの競争を困難ならしめるだらうと期待されてゐる。中板、ユニバーサル・シートの受註高は 27 日まで約 4,200t である。

黒板 需要の状態は漸次よくなりつゝある。賣手は 20~30 志(紙)の割引を許容するものさへ目立つて少くなり、10 志の値引を承知しない再壓延業者さへあると云はれてゐる。27 日までの受註高合計は 6,500t に達し、而も此の中には再壓延業者の受註は含まれてゐない。薄板、帯鋼の合計 34,000t ばかりのロシアからの需要が市場に出てゐる。

亜鉛鍍板 先週引合が少し増加し値引も稍々少くなつたが、今週に入て値引は又以前の状態に戻た。引合は立消えになつたものが多いやうである。

アメリカ商況 最近消費者は手持を補充せず、當用買を續けて來たので、手持は相當窮乏な状態にあるやうである。大部分の鐵鋼中心市場に於て、取引は少量短期間の引渡を要求するものが多いといふ事實が此の事を證してゐる。これは景氣の先行不安に對應する消費者の態度を表はしてゐるものであつて、ノーマルな取引状態ではない。従て前途に對する見透しが今少しはつきりすれば、註文も増加するものと思はれる。又消費の速度がもう少し速くなつても、消費者の斯ういふ態度は改められ、註文の數量は増大するだらう。

作業率に幾分の増加が見られる事と、スクラップの價格が多少騰貴した事以外にはこれと云て確たる好材料がある譯ではないが、一般に市況は既に底を衝いたとの感の有たれてゐる。今夏の商況は豫想ほどに悪くはなく、秋の市況恢復の基礎も徐々に出來つゝあるやうに思はれてゐる。

大口需要中では先づ、軍部及び民間の造船用鋼材の需要應數のものである。その中一部は商談進行中であり、一部は既に契約が成立した。相當應數の鋼材を使用する道路及び橋梁が新しく計畫されてゐる。9,000t の鋼材を使用するブルツクリンの市設地下鐵の計畫を最大のものとして、新計畫の使用鋼材總量は 30,370t に達する。建築用鋼材に就いてはニューヨークの官廳建築物に對して、12,000t の鋼材使用が決定された。その他にも、主とし公共建築物用のものが多いが、建築用鋼材の需要は可成り増加してゐる。

鐵道業の需要は今夏は少いといふ見込であつたが、南部鐵道の 5,550 臺の車輛材 60,000t の正式註文が近々發せられる豫定である。自動車工業の事業情況は明確な好轉を示してゐる。販賣量も生産量も、例年の 6, 7 月と異り、増加を示してゐる。即先週の生産高總計 40,175 臺に對して今週は 41,790 臺であつた。因に昨年 6 月 19 日に終る 1 週間の生産高は 111,620 臺であつた。

一部のメーカーの亜鉛鐵板の價格の 3 弗下げ正式發表は、まだ全メーカーには波及してゐない。然し實際上此の程度の値引は殆んど總べてメーカーによつて行はれてゐる。其の他の品種に對する値引も二三の重要なメーカーに依て考慮されてゐると言はれてゐる。これ等の値下がどの程度に需要を喚起するかは未だ今後の問題に屬するものであつて、今の處格別の結果は表はれてゐない。

鐵鋼の一般的價格機構に密接な關係を有てゐる労働賃銀の問題に關しては、まだ具體的な交渉等には一切入てはゐない。此の問題に就いては業者は、今暫く業界の動向を見た上で態度を決定しようとする

の意向を有てゐる模様である。

スクラップ價格は微騰を示し、市場の先行見込に就いても好感が有たれてゐる。これは必ずしも需要の増大を表すものではなく、むしろ供給の不足の爲、或ひは賣手が現在の價格水準で手離すのを厭つて來た爲と考へられてゐる。取扱商は、價格下落は既に底を衝いて居り、此の上僅かの需要でもあれば、價格は益々騰貴するだらうと見てゐる。

スチール誌の合成價格は次の如くである。

	6,18	6,11	6,4	37,6,18	33,6,18
鐵 及 鋼	\$ 38'33	\$ 38'33	38'38	39'82	28'71
鋼 材	61'40	61'70	61'70	61'70	45'30
製鋼用屑鋼	10'63	10'71	10'75	17'15	9'55

最近のドイツ鐵鋼業 鐵鋼業の世界的不況の眞只中にあつて、ドイツ鐵鋼業は相變らず、例外的な活況を呈してゐる。ドイツの國內市場の基調も、依然として強勢を示してゐる。たゞ輸出だけは顯著な減退の傾向を表はして居る。即ち此の關係を年初來の數字を採て表せば、次の通りである。

	鋼塊生産高(t)	同一日平均(t)	鐵鋼輸出高(t)
1 月	1,809,430	72,491	271,370
2 月	1,767,367	73,758	213,567
3 月	1,945,383	72,169	224,793
4 月	1,763,806	73,570	205,362
5 月	1,896,291	75,852	未 詳

即ち今年の最初の 5 ヶ月の鋼塊生産高は合計 9,192,957t に達し、昨年と同期間の合計に較べて 1,291,285t の増加である。これに反して輸出高は、今年の最初の 4 ヶ月の合計 915,850t であつて、昨年と同期間に較べて約 315,000t の減少である。輸出を品種別に見れば、半製品、厚板は多少の増加を見てゐる。だが大部分の他の品種は可成り著しい減少を示してゐる。即ち昨年基準の其の減少率は大略次の通りである。

棒 鋼	31.5 (%)	形 鋼	32.6
帶 鋼	29.8	薄板(1/16"以下)	46.1
線 材	64.1	鋼 管	44.6

鋼塊の 1 日平均生産高は、5 月は 1 月よりも約 3,300t 高くなつてゐるが、此の事は輸出の減退が製鋼工場の活動に影響を與へてゐないといふ事を示してゐる。否むしろ、ドイツ國內市場の需要の増大といふ事を考へれば、鋼材の使用は最近尙一層制限されてゐるからである。そして關係者間では、國內市場の供給不足は少くとも 1940 年の始めまでは續くだらうと云はれてゐる。此の間に一方、國立のヘルマン・ゲーリング製鋼所は鋼塊生産を年に 1,000,000t づゝ増加し、4 ヶ年計畫の終り、1940 年には、4,000,000t の鋼塊を生産する事となる。1940 年の、ドイツの鋼塊生産能力は次の通りである。

現 存 工 場	24,000,000t
國 立 工 場	4,000,000t
舊オーストリア工場	2,000,000t
計	30,000,000t

而して現在の生産高(但しオーストリアは除く)は年産にすれば 22,800,000t に相當する。

ところで此のやうな輸出貿易の減退は、今までの所まだドイツのメーカーはさほど氣にかけてゐなかつたが、終にはドイツ鐵鋼業を攪亂するかと思へたが、大陸カルテルの更新と價格据置聲明によつて市場の情勢はやゝ見直したのであつた。又ドイツと爲替清算協定を結んでゐる國との取引に於ては、普通の場合よりも高い價格で契約の成立した場合が屢々あつた。ドイツのメーカーはバーター制の取引の申込は何時も應じ切れない程であると述べてゐる。技術的な工



業方面に對しても、バーター制取引は益々多くなりつゝある。例へば現に、メキシコから 10,000,000 樽の石油を輸入しその代價としてドイツの機械を 60%、鐵鋼を 40% 輸出しようといふ計畫がある、又ドイツに於ては鐵鋼製品の標準化に對して絶えず努力を拂てゐる。例へば輕軌條の規格の數は最近 60% 減少した(但しこれはただ國內市場向けのみであつて輸出向けに就いては必ずしもさうではない)。又鐵道の客車の型の數も恐らく 45% 減らされるだらう。又労働者の住宅の建築は、産業からの金融的援助によつて、次の通りの發展を見せてゐるが、此の住宅の標準化に就いても亦、絶えず大きな努力が拂はれてゐる。

	労働者住宅數	産業からの補助金 マルク
1935 年	20,000	40,000,000
1936 年	24,000	45,000,000
1937 年	30,000	70,000,000

建築の設計の合理化と鋼材の使用節約方法の進歩により、鋼材の建築方面への使用は益々節約されつゝある。

銑鐵 現存の熔鑄爐 168 中操業してゐるのは 5 月 134、その 1 日平均生産高 49,841 t であつた。1 月~5 月の總生産高は、昨年の 6,404,080 t に對して、今年は 7,295,406 t であつた。銑鐵の輸出に就いては、まだ最初の 4 ケ月分しか報告がないが、それは昨年の 37,830 t から今年は 16,601 t に減少した。一方輸入は昨年の 46,516 t から、今年は 53,661 t に増加した。それに就いて興味ある事は、スペインが銑鐵の供給者として第 2 位を占めるに到た事である。

	1938 年	1937 年
フランス	14,204 (t)	18,643 (t)
スペイン	13,650	—
ベルギー	10,237	1,210
スウェーデン	6,813	5,209
フィンランド	3,398	—
チェコスロバキヤ	2,878	—
イギリス	1,620	2,523

ドイツ銑鐵の公定價格は現在次の通りである。鑄物用 3 號銑 3' 15" トーマス銑 3' 12" 6 FOB. 此の價格は普通の取引の場合に較べて高すぎる。従て取引は大部分爲替清算協定國との間に行はれてゐるに過ぎない。アメリカ及びイギリスのヘマタイト銑の可成り大量の輸入に關する商議が最近行はれたと報ぜられた。然し現在の所確定してゐるのはイギリスに對する 1,000 t だけでその價格は 6' 15" 0 CIF ハンブルクであると言はれてゐる。

半製品 4 月 1 日以後の英國輸入關稅引上は英本國との取引にハンディキャップをつけることゝなつた。その結果は、第 1/4 半期中英本國に對する積出は 27,000 t であつたのに、4 月には僅かに 2 t にすぎなかつた。ところで一方國內で使用し得る半製品數量の増大は、輸入の減少を助けるであらう。最近 10,000 t のアメリカ半製品の輸入に就いて商議が行はれたと言はれてゐる。だが賣手の言値はドイツの消費者にとつて採算のとれるものではなかつた。國內需要は、再壓延業者より來るものが、相變らず強い。

鋼材 形鋼、コールド・ロール・フープ、亜鉛鍍板等の外註は確かに減少した。然し他の總べての鋼材は漸次需要が増しつゝある。特にその中主なものは鐵筋用棒鋼、厚板等である。引渡期限は大抵の場合 6 週間~8 週間である。海外市場向の棒鋼及び鋼板の輸出を、今年の 1 月~4 月と昨年の同期間に就いて比較して見よう。(單位施)

	棒 鋼		厚 鋼	
	1938 年	1937 年	1938 年	1937 年
アルゼンチン	14,281	21,127	979	613
ブラジル	12,844	9,469	813	1,080
コロンビア	4,072	383	—	—
チリ	3,874	3,701	—	—
日本	3,076	6,966	61	405
支那	4,678	14,503	5,353	530
トルコ	7,793	3,734	—	32
南アフリカ	4,275	3,781	243	—
蘭印	2,205	1,314	—	—

ホット・ロール・フープの價格は 5' 0" 0~5' 10" 0 (金) の間で變動して居り、鋼管用ストリップは 5' 2" 6~5' 7" 6 (金) である。(但し孰れも FOB 價格)。棒鋼に就いては 5' 5" 0 (金) の公定價格が嚴重に守られてゐる。造船用鋼板は、14' 0" 0 (紙) の公定價格を維持することは益々困難になるやうである。然しデンマークは尙ほ此の價格で買付けをしたと傳へられてゐる。薄板は比較的閑散である。最もよく取引される寸法は、B. G. 22-24 で、その價格は夫々 12' 17" 6 及び 13' 0" 0 (紙) であつた。B. G. 28-30 は幾分割引されてゐるとの噂がある。

アメリカ商況 (6 月 27 日)

ユー・エス・スチール會社の子會社なるカーネギー・伊利ノイス會社が 24 日、半製品及び製品の一般的な價格引下げを發表した。新價格は 1928 年以前の價格水準に相當するものである。此の價格制は即時實施される。新價格制の特徴は、従來の價格制の設けてゐたピッツバーグ、シカゴ、バーミンガムに於ける價格の差異を撤廢したることである、その原因は、シカゴ地方に於て、生産が以前よりも容易になつたこと、及び製品の多様化が進んだことの二つであるといはれてゐる。カーネギー・伊利ノイスの新價格表は次の通りである。

	新値ベース (封度當り)	舊値からの引下額(噸當り)		
		ピッツバーグ	シカゴ	バーミンガム
棒 鋼	2'25 仙	4 弗	5 弗	7 弗
鋼 板	2'10 "	3 "	4 "	6 "
形 鋼	2'10 "	3 "	3 "	6 "
ストリップ	2'15 "	3 "	5 "	6'5 "
薄 鐵 板	2'15 "	3 "	5 "	6 "
筋 鋼 (ピレット)	2'05 "	8 "	9 "	9 "
鋼 矢 板	2'40 "	4 "	6 "	—
ピレット、スラブ、シートバー	34 弗	3 "	3 "	3 "

此の思ひ切れた價格の引下げは、業界の不況による競争の激化に對處する爲と、二つには新しい需要を喚起する爲であると云はれてゐる。

アメリカ鐵鋼業界は一般に、此のユー・エス・スチールの價格引下げ政策に追隨するであらうと考へられてゐるが、斯くして價格が新しい水準に安定して、従來の價格の前途に對する不安が解消すれば、今まで躊躇してゐた買手も安んじて市場に出て來るであらうと期待されてゐる。

此の價格の下向的安定の結果が市場に表はれるまでには、無論尙數週間の経過を待たねばならないであらう。たゞ此の事情を除外して考へても、最近の需要の状態は漸次良くなつてゐる、此の事は種種の點に徴して明きらかである。註文は増加してゐる。製鋼作業率は最近少しづつ上昇を續けてゐるが、今週も更に幾分の増加を示してゐる。屑鋼價格は引續き昂騰してゐる。製鋼作業率は、先週は全國平均 28% であつて、前週より 1 ポイント方高い。

デイトロイトからの報告によれば、自動車工業に於ては販賣數量

は生産數量を超過してゐる。例年のやうな需要の急激な季節的減退は見られない。手持減少は近頃でのレコードに達してゐる。此の部門では新しく前途樂觀説が擡頭してゐる。先週の自動車生産高は40,918臺であつて前週の41,790臺に較べて僅かの減少にすぎない。因に、昨年の同期間は121,032臺であつた。最近の價格の先行不安の爲に鋼材の需要者は一般に注文の手控へを續けてゐた際ではあり、鋼材の最大消費部門の一たる自動車工業の此の活況は、鐵鋼業者の意を強くするものがある。

建築用鋼材の需要は先週は前週より輕微の増加を示した。新しい建築計畫は前週より幾分減少した。

5月中の鋼輸出高は166,319tであつて、4月中より7%の減少であり。1937年5月に較べれば實に50%の減少である。但し此の數字は屑鋼を除いたものである。屑鋼の積出は374,320tに上り、これは月別積出高のレコードである。噸數に於て最高は日本向けであり、カナダ向けが第2位である。1月~5月の輸出高總計は屑鋼を除いて、967,411tで、昨年の同期は1,063,678tであつた。同期間の屑鋼積出は昨年の1,652,363tに對して、今年は1,636,247tであつた。

屑鋼價格は凡ゆる消費中心地に於て昂騰した結果、製鋼用屑鋼の合成價格は83仙方上つて11弗46仙となつた。これは4月末以來の最高水準である。屑鋼部門の昂騰の爲に、鐵鋼合成價格は13仙騰て38弗51仙となつた。1月半ば以降の最高水準である。鋼材合成價格は不變で61弗40仙である。

紐育通信 6月24日 發信

鋼塊生産率 5月26日第2回紐育通信以後の米國製鋼作業率を示せば次の如し。

5月23日	發表	29.0%
5月31日	〃	26.1%
6月6日	〃	26.2%
6月13日	〃	27.1%
6月20日	〃	28.0%

而して5月中に於ける平爐及ベツセマ-爐の鋼塊生産量は4月中のものに比し6%の低下を示せるが之れを昨年のそれと對比すれば次の如し。

鋼塊生産量	1938年 5月	1938年 4月	1937年 5月	1937年 5ヶ月總計	1938年 5ヶ月總計
1ヶ月生産量	1,806,885	1,925,166	5,151,909	24,574,237	9,180,867
1週平均生産量	407,857	448,757	1,162,959	1,138,750	—
能力に對する比率	30.39%	33.44%	88.79%	84.86%	—

本年1月以降5月迄の總生産高僅に9,180,867tにして此の調子にて進まば恐らく本年の全生産量を擧げて25,000,000tには達せざるの感あり。

レール及半製品値段 斯くの如く米國鐵鋼業は今や不況のドン底に沈滞し居るに不拘、市場値段は少くも表面的には何等の變化を認めず、試にレール及半製品の建値を見れば次の如し。

Rails and semi-finished steel (Per Gross Ton:)	June 7, 38	June 1, 38	May 10, 38	June 8, 37
Rails, heavy, at mill	\$ 42.50	\$ 42.50	\$ 42.50	\$ 42.50
Light rails, Pittsburgh	43.00	43.00	43.00	43.00
Rerolling billets Pittsburgh	37.00	37.00	37.00	37.00
Sheet bars, Pittsburgh	37.00	37.00	37.00	37.00
Slabs, Pittsburgh	37.00	37.00	37.00	37.00
Forging billets, P'gh	43.00	43.00	43.00	43.00
Wire rods, No. 485, P'gh	47.00	47.00	47.00	47.00

不況の原因 斯かる不況の原因は國內需要の衰微と、海外輸出の

不振に據る事勿論なるが、一面に於いて鐵鋼價格の引下不能が主因なりと稱せらる。而も斯く鐵鋼價格をして引下不能ならしむる所のものは、一に賃銀の昂騰によるものなりと云はれ、試みに去る4月26日ワシントンに開催の全國鐵鋼聯盟年會に於けるアメリカン、アイアン、アンド、スチール、インスティテュートの會長ガードラー氏の主張に依れば、一昨年11月及昨年3月に於ける勞銀の激増は實に31%の高率に達し、將に鐵鋼史上未曾有の事にして、今日の勞銀平均は、1929年のそれを超ゆる事25%に達し居るに不拘、此期間に於ける價格は僅に20%の上昇を示したるに過ぎず、而も此の價格たるや1929年のそれに比し僅に13%の増加に過ぎず、又1933年不景氣のドン底時代に於ける勞銀と昨今とを比較するときは、實に56%の増加にして價格は僅に34%に過ぎない爲、生産量と生産費とのバランスが取れざる結果今日の不況を來すに至れりと喝破せり。

今之れを數字的に検討するに、本年4月中に於ける支拂賃銀總額は47,800,000弗にして、之れを3月の51,380,000弗に比するときは、7%の低下なり。又昨年4月より本年同月に至る1ヶ年間に於ける鐵鋼生産高は、62%の減退を見たるに對し、同期間中に於ける従業員數は僅に24%の減少を示せるに過ぎず、而も支拂賃銀に於ては49%減となり居れり。而して昨年4月に於ける従業員總數は589,000人にして、支拂賃銀總額94,320,000弗なり。斯る生産量と、生産費との矛盾は、職工の時間給に就て見ても明瞭に察知し得る所にして、本年3月中に於ける職工の1時間當り勞銀は平均仙なるに對し、4月中のそれは、81.6仙なるが、昨年4月鐵鋼界81.8の最も活氣を呈したる際に於ては1時間85仙にして、其引下率は極めて僅かなり。茲に於てか業者として窮餘の策として就業時間の短縮を餘儀なくせしめられ、之れによつてバランスし行くこととなし居るものにして、昨年3月に於ける平均就業時間が週當り413時間なるに對し、本年3月は267時間となり、更に4月には25.6となれり。

依て5月に入り議會終了と共に、勞資双方の景氣打開工作が行はれ、目下盛んに勞資双方の互頭會合となりつつある所にして、其協定如何は今後の米國鐵鋼界に及ぼす所の影響多大にして、吾人は異常の關心を持って成行を注視し居る所なり。(以上)

6月25日 發信 不況のドン底に沈淪せる米國鐵鋼界唯一の打開策とも云ふ可き勞資の歩み合も昨日の會合にて急轉曙光を見るもの如く U. S. スチールは率先鐵鋼及半製品値段の値下斷行を發表し次いでベスレーム其他各製鐵業者一齊に之れに隨從の事となつた、以上は鐵鋼業に於ける國內需要の増加を主眼とする事は勿論であるが、之により國內産業乃至經濟界一般の沈靜せる現状を打破せんとする手段であると見られてゐる。

今回發表せられたる引下値段の特徴とする所はピッツバーグシカゴ及バーミングハムの建値水準化にして、試みにリローリング・ビレットの新安値を見るときに、適當りピッツバーグ34弗50仙、シカゴ34弗60仙、バーミングハム34弗50仙となつてゐる、即ち新値下率は舊値段の6%~17%にして1928年以來の安値である。

斯る大英斷の影響を最も強く受け急轉曙光を見らるゝと觀測されてゐるものの第一は自動車工業であるが、時も時、1939年の新型製造に取掛らんとする折から之れが原材料たるべき鐵鋼値段の低下は同工場を刺戟する所大にして延いては一般産業好轉の一大好轉の一大原因をなすであらうと云はれて居る。



ピッツバーグ、シカゴ及バーミングハム三地の新引合値段次の通り。

U. S. New Price Schedules (F. O. B.)

Table with 4 columns: Item description, Pittsburgh, Chicago, Birmingham. Items include Rerolling billets, Sheet bars, Forging blooms, Hot rolled carbon steel bars, etc.

Bethlehem new Price Schedules (F. O. B.)

Table with 2 columns: Item description, Price. Items include Hot rolled carbon steel structural shapes, Hot rolled carbon steel plates, Hot rolled carbon steel bars, etc.

紐育通信 (7月11日) 発信

本年前期鋼塊製産高に就て 本年前半期に於ける米國鋼塊製産高を前年のそれに比すると、62.4%の減退を示してゐるが、是は必らずしも消費量の同率低下を示すものでない、即ち本年度前半期に於ては前年度よりの持越量消化によつて消費量を賄ひたるもの尠からざるが爲である。今 1929 年以來の鋼塊製産高を示せば次の通りである。

Table with 3 columns: Year, First half, Second half. Shows steel production figures from 1929 to 1938.

鐵鋼配給統制團體の追加

曩に 6 月 29 日商工省告示第 168 條を以て鐵鋼配給統制規則第 2 條の規定に基く團體が指定されたが、今般 7 月 4 日商工省告示第 176 條及 7 月 21 日商工省告示第 197 號を以て更に以下の 9 團體が追加された。従て鐵と鋼第 7 號 650 頁の團體に追加される譯である。

- 日本鑄鐵調車工業組合
東京府鐵鋼製品工業組合聯合會
群馬縣鐵鋼製品工業組合聯合會

和歌山縣鐵工業組合聯合會
兵庫縣鐵鋼製品工業組合聯合會

(以上 7 月 4 日の分)

日本交通保安裝置工業組合
日本鑄鐵管工業組合
熊本縣鐵鋼製品工業組合聯合會
栃木縣鐵鋼製品工業組合聯合會

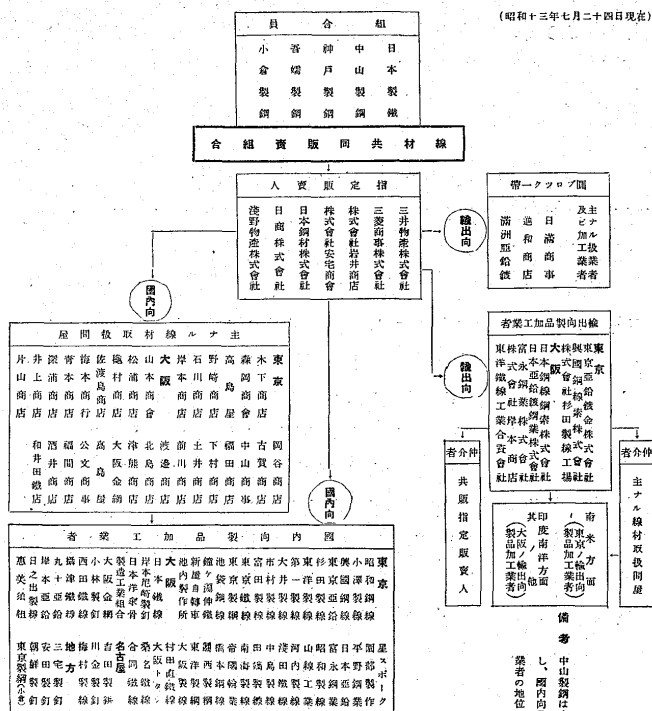
(以上 7 月 21 日の分)

人造石油製造業鐵鋼配給協議會
日本管鐵工組合聯合會
日本鋸刃工業組合
大阪府鐵鋼製品工業組合聯合會
宮崎縣鐵鋼製品工業組合聯合會
沖繩縣鐵工業組合

Handwritten notes: 9.18, 27x34, 745

線材共販組合販賣徑路

(昭和十三年七月二十四日現在)



東西市況 (切符を繞る)

裏街道を行く商内が皆無ではないかも知れぬが、それが罪惡となす今日では事實を擧げず、輕々にそう云ふ方面の事を口にすべきではないと考へる。況して市場は概ね自肅、自戒し事實知れる限りに於ては規定値段にて切符引換へに商内されてゐるので、不肖寡聞にして裏街道を知らず、と成さざるを得ない。

斯くて今日の市場を正面から眺めれば、

- (1) 成るべく多くの切符を獲得して實績を擧げ、後の手當てを資けんが爲に、採算のとれる物即ち、小形平、小山形C級、中、大山形の如く多少共販物が残てゐるか或は餘り買ひ上げられて來なかつた物に、許されてゐる範圍で、値段を勉強する場合は散見せられるやうになつた事。
(2) 指定問屋が、切符の獲得と、手持の流下に依る自己倉庫の潤

渴防止と、市場全般の成るべく速にして完全なる切符制の確立とを望むが爲に、無切符では特約店にも渡さぬ建前を採たので、弱小扱業に悲觀論が多くなり、其の商勢が相當に後退した事。

(3) 切符制と所謂公定値段の實施に依り、見積りや、鏝競合の意義が著しく減じたので、市場に合法的且善意なる協力に依る互助的商法が生じて來た事。

等が此處數日來の新情勢として映て來るに止り、其他には別に變た事も無い。尤も之れも變化であるには相異ないが、隱忍、自重、何事も規定大事に行動されてゐるので、根本的には市況に變化らしい變化が有る筈が無い。前旬と大同小異に推移してゐると見てよい。

尙ほ、前記の變化も、切符制を尊重遵守してゐるが爲であるから、昨今の市況に取て情勢を求めれば、結局切符を繞て動く、とでも言ふべきか。

**下旬** 窮餘の一策として、指定問屋が定期的に寄合て交換會？と云ふやうなものを遣り始めた。即ち切符に引當てる爲め、持たざる者が持てる者の助力を求める事を前提とし、物々交換を原則として有無相通ぜしめんとするものである。尤も實際上は、品物が無く

て助力を求める程の向は見返り品を持たぬ場合が多く、且復せられる物は品拂底なので、現物の交換は少く、大體一先づ賣買の形式で處理せられるやうである。

極端に品物が拂底してゐるので、共同戦線を張るのは誠に賢明で、相互に生きる所以である。需要家も助かる。

大手問屋は斯くて曲りなりにも商内を續け、大手需要家は切符を持って手當てもしてゐる。従て此の方面では、窒息するが如き情勢とはならない。勿論積極的色彩は無く、意氣銷沈の商内に終始してはゐるが、切符を繞て稍々商戦と云へるものが見られる。

然し弱小扱業及小口需要家方面は、交換會と云ふが如き機關無く、入荷の道も一方の口が閉塞してをり、證明書の入手又は割當も少いので、中には全く動きの取れぬ向があり、概して賣買の途が極度に限定されて、四苦八苦悲壯なる相貌を呈してゐる。

切符の發行も不慣れの爲め公平とは言はれず、供給も近く多少なりとも市場向が出されるが、現在では軌道に乗つてをらず、總てが過渡期の、生みの悩みの、今が悪い方面が漸く重て來た時なので、市場は前旬來少しも良い方面に展開してをらぬやうである。

値段は、裏道は知らず、矢張り、前旬同様規定値段である。

### 民間の製鋼會社増産計畫

日鐵、昭和製鋼の鐵鋼増産5ヶ年計畫に對應し日本鋼管でもこのほど第4熔鑪日産600噸の建設認可されたのを機にいよいよ増産計畫を樹立すべくその調査研究に没頭してゐるが首腦者間の原案として次のプランを採擇することにはほぼ内定した模様である。

(1) 第1熔鑪350噸、第2熔鑪400噸および今春火入れをした第3熔鑪600噸はいづれも好調子に作業をつづけてゐるのでこのほど認可を受けた第4熔鑪も能ふかぎり早急にその建設に着手すること。(2) 第4熔鑪に引つづき第5および第6熔鑪各700噸の建設認可の申請をなしこれが昭和14年末までに完成するとすれば昭和17年度には年190萬噸の銑鐵生産能力を確保することになるわけですくなくとも年産350萬噸を最低目標とする。なほ第4、第5、第6、熔鑪とも現在の川崎に建設する。(3) この熔鑪の矢つぎ早の建設に伴ひ副産物處理の別會社も從來の1,000萬圓では小規模に過ぎるから4,000萬圓乃至5,000萬圓程度のものに改案し大規模に副産物を處理する。(4) 鋼材設備の現在の倍額以上すくなくとも年120萬噸から150萬噸に増産する。(5) かくて第4、5、6、の3熔鑪のみでもその建設費は4,500萬圓に達し鋼材増産設備資金をも加算すると7,800萬圓はどうしても必要となる。(6) これらに要する資金合計110,000,000~130,000,000圓に上るためこれが所要資金は一時借入金によることあるも將來は現在の未拂込徴収および増資に

よる必要あり社債の方法も考へられてゐるが株式資本によるべしとの主張が最も有力である。しかして株式資本によるとすれば現在の資本金100,000,000圓拂込み60,985,000圓(舊株50圓拂込済442,000株、新株35圓拂込済664,000株、第2新株17圓50錢拂込済894,000株)でこの内未拂込のある新株を一律に1株7圓50錢づつ来る10月1日に徴収し總額11,685,000圓を上げるがなほ10月以後に未拂込として2,733萬圓を残すのでそれを月々に徴収した後倍額増資を斷行し新資本金200,000,000圓とする方針の下に關係官廳と折衝する。(7) この増産に要する鑛石、コークス炭の供給については從來の購入先たる中支、南洋蘭領インド、濠洲などからの供給を確保するとともに新供給先を研究、また舊供給先の増産に關係者の協力を求むること。

なほ日本鋼管の増産計畫に併行し小倉製鋼および中山製鋼でも本年末までにそれぞれ350噸熔鑪および300噸熔鑪を火入れする豫定で兩社はすでに建設認可申請をなした。前者350噸爐、後者400噸爐も近く正式に建設認可ある模様であるからいづれも附屬製鋼設備の建設は遅れても熔鑪だけは直ちに建設に着手するはずで小倉製鋼ではこのため現在の未拂込を来る9月1日1株につき各25圓づつ徴収して満株となし直ちに倍額3,200萬圓への増資準備にかゝるが當局は第2熔鑪にすでに内認可を與へてをりその正式認可と前後して臨時資金調整局から右資金調達のため倍額増資を認可あるものと見られてゐる。(大毎8・19)

特表

商

況

801

東京大阪鐵鋼市中相場表

備考 單位一〇〇kgにつき(置場値段) 但し薄板は一枚當り、線材は適當り、ブリキは一函當り

		7月8日		7月18日		7月27日	7月28日
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	22'20~24'80	27'00	22'20~25'90	23'00	22'20~25'90	27'60
	9	23'20~23'80	23'60	23'20~24'80	23'60	23'20~24'80	23'60
	12	21'10~24'30	24'00	21'10~25'40	21'50	21'10~25'40	21'50
	19	20'10	20'40	20'10	20'40	20'10	20'40
	25	"	"	"	"	"	"
	50	22'70	29'00	22'70	—	22'70	23'00
	65	"	"	"	—	"	"
	130	36'00~47'00	49'00	—	—	—	—
	150	"	52'00	—	—	—	—
	200	"	65'00	—	—	—	—
角鋼	9mm	21'70~25'40	26'50	21'70~26'40	26'80	21'70~26'40	26'50
	12	21'70~20'90	27'00	21'70~27'00	27'30	21'70~27'00	27'00
	16	21'70	22'00	21'70	22'00	21'70	22'00
	19	"	"	"	"	"	"
	38	"	29'00	"	—	"	29'40
	50	22'70	30'00	22'70	—	22'70	—
	65	"	36'00	"	—	"	—
	100	"	42'00	"	—	"	—
平鋼	3×25mm	21'70~25'40	26'70	21'70~26'40	26'70	21'70~26'40	26'70
	9×19	21'70	22'00	21'70	22'00	21'70	22'00
	6×25	"	"	"	"	"	"
	6×38	"	"	"	"	"	"
	6×50	"	"	"	"	"	"
	6×75	22'70	25'50	22'70	25'70	22'70	25'70
	9×100	"	"	"	"	"	"
	12×100	"	"	"	"	"	"
等邊山形鋼	3×20×20mm	23'20	33'00	23'20	23'20	23'20	33'25
	3×25×25	22'20	31'45	22'20	22'20	22'20	31'15
	5×40×40	21'10	21'45	21'10	21'10	21'10	21'15
	6×45×45	"	"	"	"	"	"
	6×50×50	21'70	21'95	21'70	21'70	21'70	21'65
	6×65×65	20'60	20'90	20'60	20'60	20'60	20'60
	9×75×75	"	"	"	"	"	"
	9×130×130	21'70	21'95	21'70	21'70	21'70	21'65
12×130×130	"	"	"	"	"	"	
15×150×150	"	"	"	"	"	"	
不等邊山形鋼	9×50×75mm	21'70	21'95	21'70	21'70	21'70	21'65
	10×75×100	"	"	"	"	"	"
	10×90×125	"	"	"	"	"	"
	9×100×150	22'20	22'50	22'20	22'20	22'20	22'20
12×100×150	"	"	"	"	"	"	
溝形鋼	5×50×100mm	23'20	30'00	23'20	23'20	23'20	22'75
	6×65×125	22'70	"	22'70	22'70	22'70	"
	6'5×75×150	"	"	"	"	"	"
	9×90×250	"	"	"	"	"	"
	10×90×300	"	"	"	"	"	"
工形鋼	5'5×75×150mm	22'70	30'00	22'70	22'70	22'70	22'75
	7×100×200	"	"	"	"	"	"
	10×125×250	"	"	"	"	"	"
	8×150×300	"	"	"	"	"	"
12×150×350	"	"	"	"	"	"	
鋼板	1'6×3'×6'	26'50	26'70	26'50	26'50	26'50	26'70
	1'6×4×8	27'50	27'70	27'50	27'60	27'50	27'70
	1'6×5×10	28'60	28'80	28'60	28'60	28'60	28'80
	2'3×3×6	25'90	26'10	25'90	26'10	25'90	26'10
	2'3×4×8	27'00	27'20	27'00	27'10	27'00	27'20
	3'2×5×10	28'10	28'20	28'10	28'10	28'10	28'20
	3'2×3×6	24'30	24'50	24'30	24'50	24'30	24'50
	3'2×4×8	"	"	"	"	"	"
	3'2×5×10	"	"	"	"	"	"
	4'5×3×6	23'80	24'00	23'80	24'00	23'80	24'00
	4'5×4×8	"	"	"	"	"	"
	4'5×5×10	"	"	"	"	"	"
	6'0×4×8	"	"	"	"	"	"
6'0×5×10	"	"	"	"	"	"	
9'0×4×8	23'20	22'80	23'20	23'50	23'20	23'50	
9'0×5×10	"	"	"	"	"	"	
12×4×8	"	"	"	"	"	"	
薄鋼板 (13板)	川	1'04	1'04	1'04	1'00	1'04	1'00
	崎	"	"	"	"	"	"
ブリキ	米	38'50	42'00	38'50	—	38'50	—
	200	40'00	45'20	40'00	—	40'00	—
	英	38'50	42'50	38'50	—	38'50	—
	200	40'00	46'00	40'00	—	40'00	—
	八幡	38'50	39'50	38'50	39'00	38'50	39'50
	200	40'00	40'50	40'00	40'50	40'00	40'50
W. W	200 薄口	40'50	44'00	40'50	40'00	40'50	43'00
線材	B. W. G. # 5	200'00~240'00	270'00	—	—	—	—

昭和13年7月中發表各種鋼材建値表

(其の三)

所屬別	品 種 區 分	建 値 日	建 値		備 考	
線 材 共 販	5.5mm	7-13	190		指定河岸着 7, 8 月渡應當りの値段 なり。 前月に据置 但線材共販の販賣品種は線材全部と す。	
	6	"	188			
	太熔低炭接素用鋼	"	220			
	炭接素用鋼	"	245			
	硬鋼	"	230			
	半硬硬電含	"	240			
	信線鋼	"	260			
	鍍	"	250			
ブ リ キ 共 販	170 lb	7-5	日 鐵 製 品	其 の 他	指定河岸渡七月及八月積の値段にし て單位は函當り。東洋鋼板及扶桑鋼 業オイルサイズ及定期實需家向市場 サイズは日鐵建値による。 但鉄力板共販の販賣品種は製法の如 何に不拘鍍錫したる鋼板及帶鋼(ロ ーム板を含む)全部とす。	
	200 lb	"	36.00	37.00		
	石油罐用	"	37.50	38.50		
	天 地 板 板	"	21.00	22.00		
帶 鋼 共 販	0.9mm~1mm	7-5	19mm~24mm	285	指定河岸着 7, 8 月積値段にして前 月に据置 但帶鋼共販の販賣品種はスケルプ及 300mm 以下のフープとす。	
			25~35	275		
			36~85	260		
			86~105	270		
	1.1~1.3	"	19~24	280		
			25~35	265		
			36~49	255		
			50~121	250		
	1.4~2	"	122~150	255		
			151~160	260		
			19~24	270		
			25~35	255		
	2.1~2.5	"	36~49	250		
			50~121	245		
			122~150	250		
			151~170	255		
	2.6~3	"	25~35	255		
			36~49	250		
			50~121	240		
			122~150	245		
日 本 製 鐵	美裝鋼板 {1.6mm} 白鳩印				健値未定。	
	縞鋼板 {4.5mm} 6.0		245 (標準値段)		全部實需向なり。	
	珪素鋼板 (函入)	B 級 C 級 D 級 T 級 S 級	6-29			健値未定。
			"			
			"			
			"			
スコップ用鋼板	{1.6mm x 3' x 1'85 x 14 x 8}	6-6			健値未定。	
鐵	重軌	7-5	210		需要家渡の 9, 10 月積の應當り値段 なり、輕軌條は 8, 9, 10, 11 月積	
	輕軌	5-26	200			
	鋼 矢 板	12-5-25	205		指定河岸渡、應當り値段なり。	

特表 3

昭和13年7月中発表各種鋼材建値表

(其の一)

所屬別	品 種 別	建 月	建 値	定 尺	エキストラ	考		
棒 鋼 共 販	丸鋼ベース (19mm~32mm)	7~13	185	12呎. 15.16.18. 20.22.24		建値は前月発表の据置にして9, 10 月積, 指定河岸渡越當の値段なり. 長きのエキストラ 34呎迄の不定尺 5圓増 34呎超 45呎迄 6圓増 45呎超 50呎迄 8圓増 50呎超 別に相談の事 二級品の格差 小形丸鋼 3圓落以内 中形丸鋼 10圓落以内 小形角鋼 3圓落以内 中形角鋼 10圓落以内 小形平鋼 10圓落以内 中形平鋼 10圓落以内 但棒鋼共販の販賣品種は 丸鋼徑 100mm以下 角鋼徑 130mm以下 (火床用平 鋼を含む) 六角鋼 對邊の距離100mm以下 八角鋼 對邊の距離100mm以下 半丸鋼幅 130mm以下		
	6mm	"	205	12	+20			
	8	"	215	12	+30			
	9	"	215	12.15.18.20 (日 鐵のみ)	+30			
	12	"	195		+10			
	13	"	195		+10			
	16	"	190		+5			
	36~48	"	195		+10			
	中形丸鋼 (50mm~100mm)	"	210	12.15.18				
	小形角鋼 (邊 50mm 未滿)	"	200					
中形角鋼 (邊 50mm 以上 100mm 以下)	"	210						
小形平鋼 (幅 65mm 以下)	"	200						
中形平鋼 (幅 65mm 超 130mm 以 下, 火床用を含む)	"	210						
形 鋼 共 販	小形等邊 山形鋼	A 3×20×20	7~14	215	12呎. 15.18.20	+20	建値は前月発表の据置にして, 適當 り9, 10月積, 指定河岸渡の値段な り. 長さ又は切揃のエキストラ 25呎超 40呎未滿 {大形 10圓 中形 5圓 40呎超 50呎以下 {大形 15圓 中形 10圓 50呎超 {大形 20圓 中形 15圓 25呎未滿 {大形 15圓 中形 10圓 但定尺のみは中形のエキストラは 250圓大形はエキストラなし. 規 格 料 A 造船用 (切揃料を含む) 1 造船聯合會經由 30圓 2. 其他のもの 50圓 B 構造用 (切揃料を含まず) 20圓 但形鋼共販の販賣品種は 山形鋼 (異形山形鋼を含む) 工形鋼 溝形鋼	
		B 3×25×25	"	205	"	+10		
		3×30×30	"	205	"			
		3×40×40	"	205	"			
		5×30×30	"	195	"			
		5×40×30	"	195	"			
		C 4×45×45	"	195	"			
		6×40×40	"	195	"			
		6×45×45	"	195	"			
		小形不等邊山形鋼 5×35×50	"	205		+10		
	中形 山形鋼	等邊 (50mm 以上 100mm 以下)	"	190	25.30.33.36.40	ベース	+15	
		4×50×50	"	205		+10		
		6×50×50	"	200		+10		
		8×50×50	"	200		+10		
		不等邊 (邊の和100mm以 上200mm以下但 125×90を含む)	"	200		+10		
		大形 山形鋼	等邊 (邊 100mm 超)	"		200	ベース	+3
			200×200	"		203	+5	
			不等邊 (邊の和200mm 超但 125×90 は中形)	"		205		
	工形鋼 (大形と して取扱 ふ)	100mm×75mm 以上	"	210	25.30.33.36.40	ベース	+2	
		400×150	"	212		+3		
450×175		"	213	+3				
20''×7½''		"	213	+3				
24×7½''		"	216	+6				
溝形鋼 (大形と して取扱 ふ)		125mm×65mm以上	"	210		ベース	+5	
100×50	"	215	+5					
75×40	"	215	+5					

昭和13年7月中發表各種鋼材建値表

(其の二)

所別屬	種 品 別	區 分	建 値 月 日	建 値		エキス ト ラ	備 考	
				シーヤ及 間屋向	實需向			
鋼 板 共 販	耳付	小 (12mm×5' ×20'以下)	厚板ベース	7~14	185	195	ベース	建値は、前月の据置にして、指定河岸渡、 趣當りの値段なり  其の他のエキストラ  幅 7呎~7呎6吋迄 15圓 7呎6吋超~8呎迄 20圓 8呎超~9呎迄 25圓 9呎超~10呎迄 30圓 10呎超 40圓 厚 25mm ~35mm迄 10圓 35mm超~40mm迄 20圓 40mm超~45mm迄 30圓 45mm超~50mm 40圓 長さ 10m 以上 10圓 中板の中間寸法は最も近き寸法の値 段に 10 圓増し  但鋼板共販の販賣品種は 3mm 超 6mm 未滿の中板 6mm 以上 50 mm 以下の厚板
			6mm	"	190	200	+ 5	
			4.5	"	190	200	+ 5	
		3.2	"	"	"	"	"	
		大 (12mm×5' ×20'超)	厚板ベース	"	195	205	ベース	
			6mm	"	200	210	+ 5	
	4.5		"	"	"	"		
	定尺 (3呎×9呎, 4×8.5×10)	厚板(6mm超) ベース(25mm未滿)	"	215	225	ベース		
		6mm	"	220	230	+ 5		
		4.5	"	220	230	+ 5		
	切板	小	厚板ベース	"	"	230	ベース	
			6mm	"	"	235	+ 5	
4.5		"	"	235	+ 5			
大	厚板ベース	"	"	240	ベース			
6mm	"	"	245	+ 5				
薄 板 共 販	31番	3呎×6×	(13枚入)	7~6	260		建値は七月積の趣當りの指定河岸着 値段なり  其の他のエキストラ  25呎×5呎 3圓増 25呎×7呎 5圓増 25呎×8呎 8圓増 25呎×9呎 18圓増 3呎×7呎 5圓増 3呎×8呎 10圓増  其他特殊寸法はエキストラ 20 圓以 内とし其都度協定す 規定外中間寸法は近似寸法の高い方 の値段による  但薄板共販の統制品種は 3mm 以下 1mm 以上の中板 1mm 未滿の薄板	
	30	3×6	(12枚入)	"	260			
	29	3×6	(11枚入)	"	258			
	28	3×6	(10枚入)	"	258			
	27	3×6	(9枚入)	"	256			
	26	3×6	(8枚入)	"	256			
	25	3×6	(7枚入)	"	254			
	24	3×6	(6枚入)	"	254			
	23	3×6	(5枚入)	"	252			
	20	3×6	(4枚入)	"	252			
	18	3×6	(3枚入)	"	250			
	販	1.6mm 2mm	3呎×6呎	"	"	245		+ 10
			4×8	"	"	255		+ 20
			5×10	"	"	265		
		2.3mm	3×6	"	"	240		ベース
4×8			"	"	250	+ 10		
5×10			"	"	260	+ 20		